

様式第 4 号

課題名	心房細動アブレーションの麻酔管理におけるプロポフォールの有用性
承認番号	2019-32 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 黒岩 亮平
研究期間	(西暦) 2019 年 8 月 ~ (西暦) 2020 年 3 月
研究の意義・目的	心房細動アブレーションは施行時間が長時間に及ぶため、鎮静が必要です。過少鎮静では、患者さんの苦痛や手技への支障がでてしまいます。一方で過度の鎮静は、術後の覚醒遅延を引き起こすため、最適な麻酔管理が重要です。本研究は、心房細動アブレーションの麻酔管理において、プロポフォールの有用性を検討することを目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	2019 年 1 月 1 日から 6 月 30 日までに、当院の循環器内科に入院し、心房細動に対してカテーテルアブレーションを施行した患者さんを対象とします。診療録より患者さんの治療情報(アブレーションのエネルギー源、総手技時間、鎮痛薬、鎮静薬)や退室時の覚醒状況、低血圧や術後悪心嘔吐の有無などを収集し、チオペンタール使用群とプロポフォール使用群とで比較検討します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。本研究において得られたすべての情報は研究成果の報告を含め、実名および患者さんのプライバシーに関わる内容は一切公表しません。 研究対象患者さんからデータ使用不可の連絡があった場合には、研究対象から除外いたします。
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、主疾患、アブレーションのエネルギー源、総手技時間、鎮痛薬、鎮静薬、覚醒状況、血圧、術後悪心嘔吐の有無など。
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任者、及び研究分担者(当院職員) <ul style="list-style-type: none"> ・ 平尾 龍彦 循環器内科医師 ・ 山内 康照 不整脈診療科部長 ・ 猪股 克彦 薬剤部長 ・ 井口 恵美子 薬剤副部長
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	薬剤部 黒岩 亮平
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 黒岩 亮平 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101